



世界韓流学会 第2回大会：  
“グローバルゼ-ションと大衆文化”

ブエノスアイレス, アルゼンチン,

2014

- テーマ: グローバリゼ-ションと大衆文化
  - 日時: 2014年10月30日(木) - 11月1日(土)
  - ブエノスアイレス大学, アルゼンチン国立図書館
  - 韓国ウィーク: 2014年10月27日(月) - 11月1日(土)
  - メイン・セッション: 10月31日(金) - 11月1日(土) 9時 - 17時,
  - 晩餐会: 10月31日(金) 午後6時
  - 個人発表要旨提出締切り: 2014年7月31日(木)
  - パネル要旨提出締切り: 2014年 7月31日(木)
  - 結果通知(個人発表, パネル発表): 2014年8月10日(日)
  - 事前登録: 2014年8月15日(金) - 10月15日(水)
  - 事前登録費: 会員 (US\$50), 非会員 (US\$100)
  - オンライン登録費: 会員 (US\$70), 非会員 (US\$130)
  - 会員加入費: 個人年間会員 US\$50; 生涯個人会員 US\$500; 企業年間会員 US\$1,000
- 個人要旨・パネル要旨提出: [www.wch2014.iwahs.org](http://www.wch2014.iwahs.org)

論文募集:

世界韓流学会(WAHS)は、韓国、アジア、そしてグローバル大衆文化の学際的学会です。このたび、第2回大会の個人発表とパネル発表を募集しており、今年のテーマは、ポップカルチャーのグローバルゼ-ションとその理論化の強化を目的として、“グローバルゼ-ションと大衆文化”としました。



地域文化として知られていたジャマイカのレゲエ音楽、インドの映画産業（Bollywood）、ラテンアメリカのテレビ小説(Telenovelas)、そして韓国の韓流がインターネット、または衛星放送によるメディアチャンネルを支配しています。このようなコンテンツは以前にも増して21世紀の地域文化に多様性を与えています。

経済のグローバル化と共に、21世紀のソーシャル・メディアは新しいソーシャルネットワークキングの機会を与え、新しい大衆文化の変化を推進しつつあります。

WAHSは韓流研究が大衆文化の可能性を主張、分析することにより、多様な文化コンテンツを養成し、現地人の社会的かつ文化的経験を豊かにすると信じています。

今年の大会は多様な学問分野およびフィールドを持つ研究者が集まり、地域の大衆文化とグローバリゼーションについて討論できる新しい場を作るでしょう。また、大会は国際的に活躍されている優秀な学者と韓流文化人による基調講演も準備しております。

私たちは以下に例示するテーマを含め、大衆文化のあらゆる局面に関心のある方々をお招き致します。

- グローバルコミュニティと大衆文化
- 韓流: グローバリゼーションとローカライゼーション
- ソーシャルネットワークと大衆文化
- 大衆文化とアイデンティティ
- 創造性と大衆文化
- 大衆文化コンテンツの創造
- 大衆文化の政治経済学
- マス・メディアと大衆文化
- エンターテインメント業界
- テクノロジーと大衆文化
- 韓国-南米
- 旅行と大衆文化

個人発表は上記のうちの一つをお選びください。パネル発表は上記以外にもトピックをご提案いただけます。

要旨〔アブストラクト〕は英語を原則としますが、パネル申請の場合のみ、韓国、日本語、またはスペイン語で、要旨を提出することも可能です。